

7/4 玄葉



## 市長「まだ遺憾」

統一協会（世界平和一家庭連合）が東京都多摩市に購入した土地での研修施設建築を計画している問題で3日、現在ある建物の解体工事が始まりました。市と市民は着工しないよう求めていました。協会の進出に反対している市民団体「統一教会はNO! 多摩市民連絡会」メンバー約40人が現地で監視

活動をしました。この半年前8時半ごろ、現地に立つ物流倉庫前で市民連絡会が横断幕を掲げる中で、多くの資材を積んだ大型車両1台が敷地内に入りました。

同会共同代表の一人の佐久間むづみさんは、「市民は工事に反対している」ということを伝えたかった。自分たちの街をどう守っていく

か、市民も市議も市長も一体になって考えて行きたい」と語りました。日本共産党など複数の会派の多摩市議のほか、近隣自治体の議員も参加しました。

統一協会はこの土地を昨年4月に都内の食品卸会社から購入。今年6月、約400人が宿泊できる研修施設を建てる計画を市に伝えました。

この日の着工を受け、市長は「まだ遺憾」とするコメントを発表。統一協会宛ての質問書を郵便で発送しました。「解散命令がないことが確定するまで、建築をしない」と本市は理解しているが、それでよいか」と問い合わせ、13日までの範囲での回答を求めています。

# 統一協会が工事開始

**東京・多摩の建物解体 市民ら監視**

か、市民も市議も市長

阿部裕行市長は「宗

教法人法に基づく解散

命令が出ないことが確

定するまで」解体や建

築など一切の工事をし

ないよう、統一協会に

申し入れました。協会

は同月、建築工事には

触れずに「解体だけは

進める」と市と電話で

連絡。市民連絡会も協

会に着工中止などを求

めていました。